

# 第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

(有) エイ・ワイ・エイ研究所

## ②施設・事業所情報

名称：ケアハウス剣崎	種別：経費老人ホーム
代表者氏名：理事長 南 眞次	定員（利用人数）：50名
所在地：石川県白山市剣崎町1488番地	
TEL：076-275-6688	ホームページ： <a href="http://www.fukujyukai.jp/kenzaki_care/">http://www.fukujyukai.jp/kenzaki_care/</a>

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 平成17年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 福寿会			
職員数	常勤職員： 25 名	非常勤職員： 8 名	
専門職員	生活相談員 1 名	介護専門員 7 名	
	介護専門員 17 名	その他 1 名	
	看護職員 3 名		名
	栄養士 1 名		名
	その他 3 名		名
施設・設備 の概要	(居室数) 居室44室 夫婦部屋3室	(設備等) 一般浴室男女各1室 個浴2室 特殊浴室1室	

## ③理念・基本方針

<福寿会理念> 「福祉の心を社会のために」

私たちは施設を利用される方の個人の尊厳を保持し、日々充実した生活を送られるように支援します。

<基本方針>

- ・安全で安心できる施設サービスを提供します。
- ・住み慣れた地域での生活継続のための在宅サービスを提供します。
- ・地域の多様なニーズを探り、地域との共生を図ります。
- ・魅力ある職場作りと人材育成に取り組みます。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・自立支援委員会を中心に、個別ケアの充実・サービスの質の向上・介護の重度化防止を目指し取り組んでいる。
- ・入居者の皆様が継続してサービスを受けられるように介護予防に力を入れ、多職種協働で支援をしています。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年9月14日（契約日）～令和6年2月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（平成 年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

■施設内の各活動・実施案件（各委員会、研修、行事企画等）は、PDCAサイクル手法に基づいて行う体制が整備されている。年1回、第三者評価の自己チェックリストを用いて、運営委員会にて各フロアリーダーを中心に運営上の自己点検を実施して改善点を抽出している。

■サービスの質を担保するために人財育成・業務のIT化（省力化、情報共有）により生産性の向上に取り組んでいる。人財育成のために多様な専門委員会活動・研修の体制を構築し、職員の自主性の発揮や事業計画への参画推進等、サービスの質の向上のために職員にとっても魅力ある職場作りに取り組んでいる。

■非常時（火災、地震、風水害、雪害、断水等）マニュアルを整備しており、防災委員会を毎月開催している。防災委員会が中心となり、毎月、災害時の対応に関する避難訓練（夜間、日曜日想定）を実施して職員・利用者に対応周知を図っている。年2回の火災想定総合避難訓練、年1回の地震・水害を想定した対応訓練を実施している。

■接遇についての法人内研修・施設内勉強会を実施しており、会話のスピードや聞きやすい口調、利用者の尊厳に配慮した対応・言葉遣い・選択肢ある声かけを職員に徹底している。利用者別（補聴器の有無、ホワイトボードの利用等）にコミュニケーション方法を検討しており、利用者にとってストレスの無いコミュニケーションに取り組んでいる。行事計画については利用者の意見を聞いてケース記録・申し送り記録に記載して職員で検討している。

■年1回、満足度調査手順書に準拠して満足度調査（一般利用者、特定利用者、家族）を行い、満足度の把握・分析を行って職員全体で情報共有している。また、利用者とは毎月の懇談会を通じて意見・ニーズの把握に取り組んでいる。アンケート結果は運営委員会で内容を検討して施設の対応を明文化しフィードバックしている。

### ◇改善を求められる点

■運営計画は施設全体の数値目標（1日平均利用者数、職員配置数）や各部門の重点項目を明示した内容となっており1カ月単位で検証しているが、各項目について具体的に数値化した計画の策定と評価・見直しを実施しやすいスキーム作りを課題としている。

■苦情内容・改善策は家族の同意を得て、玄関に掲示・広報誌で公表している。職員には全体会議の場で、苦情内容・考察・改善策等を周知している。今後は苦情の内容・改善策をホームページ等でも公表する取り組みが期待される。

■福祉サービスの標準的な実施確認について、今後は現任者について標準的なサービスの実施方法・手順が実践できているかのチェック体制の整備に期待する。

■家族との面会時やサービス担当者会議・ケアプラン更新時にて家族の意向・要望を確認し、日頃の支援に反映している。今後は利用者と家族とがつながりを持てる行事等の企画に期待する。

■利用者別に必要に応じて毎日の生活支援（ケアプラン）の中で口腔ケアチェックを実施して整容として評価・確認している。口腔内に問題がある場合は外来歯科（家族付き添い）または往診歯科を手配している。今後は口腔ケアの統一表の更新に期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

軽費老人ホームとして、平成21年以来2回目の受審となりました。3年前に、短期入所生活介護で、受審したときの結果を活かしながら改善をおこなってきましたが、取り組めていない部分も多く、改めて気づかせて頂きました。

コロナ禍の中、家族とのつながりや地域とのつながりの機会が殆ど持てず工夫することも不十分でした。今後は、感染症と上手く付き合いながらつながりを持つことを考えていきます。

さらなるサービスの向上を目指し、頂いた評価を活かしながら安心して生活できるような施設運営に取り組んでいきたいと思えます。

⑧評価細目の第三者評価結果（別添）